

農山村地域資源

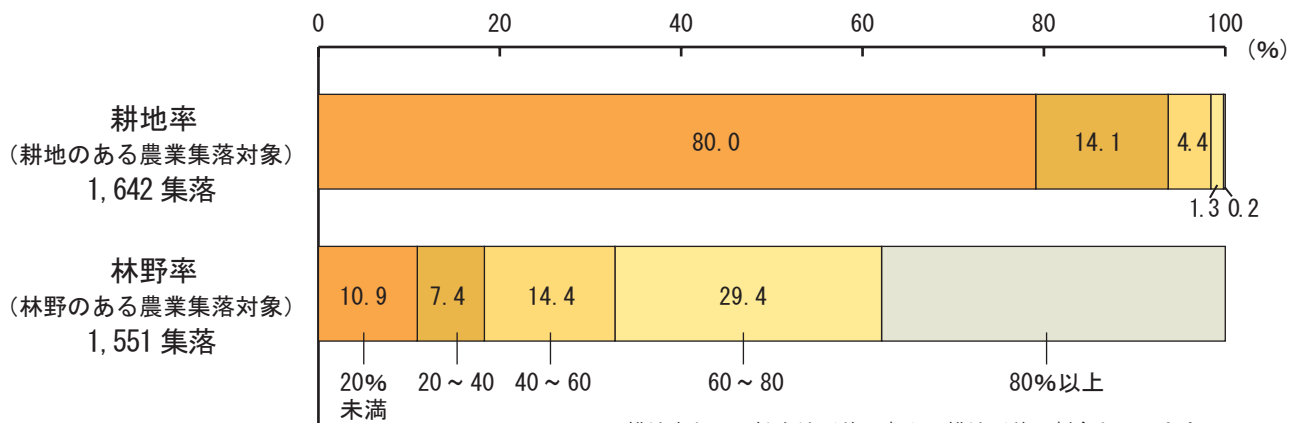
耕地率 20%未満の農業集落が 8 割

京都府における農業集落数は、1,703 集落となっています。

このうち、耕地のある農業集落 (1,642) の耕地率別集落数割合をみると耕地率 20%未満の集落が 8 割を占めています。

また、林野のある農業集落 (1,551) の林野率別農業集落数割合をみると林野率 80%以上の集落が約 4 割で最も多くなっています。

● 耕地率別及び林野率別農業集落数割合 ●



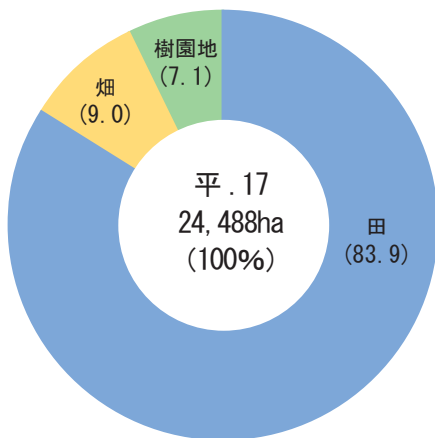
耕地率とは、総土地面積に占める耕地面積の割合をいいます。
林野率とは、総土地面積に占める林野面積の割合をいいます。

農振農用地内耕地面積は 2 万 4,488ha

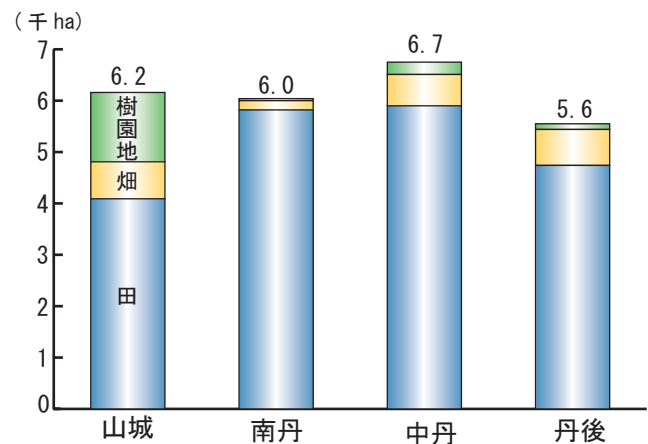
農振農用地内耕地面積は 2 万 4,488ha で、耕地種類別には田が 2 万 555ha で、全体の約 8 割を占めています。

地域別には、山城地域で樹園地の割合が高くなっています。

● 耕地種類別農振農用地内耕地面積割合 ●



● 農振農用地内耕地面積の地域別耕地種類別面積 ●



農振農用地とは？

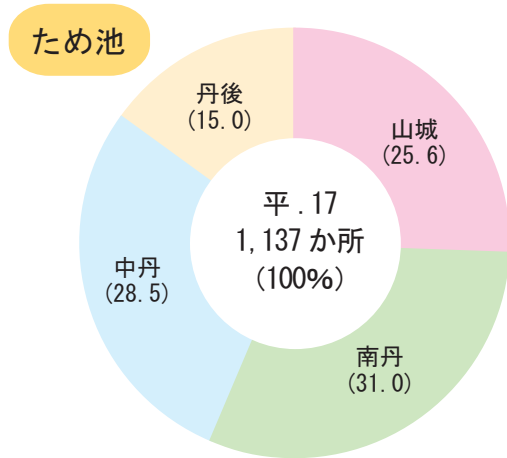
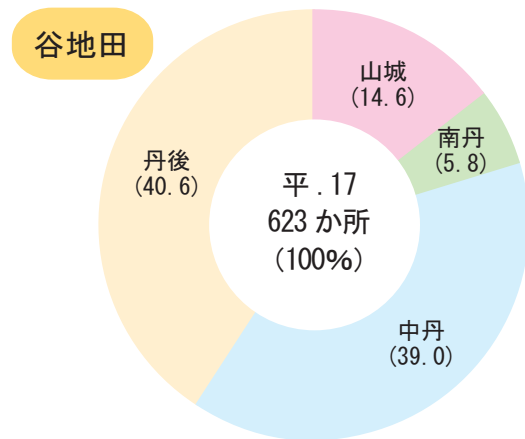
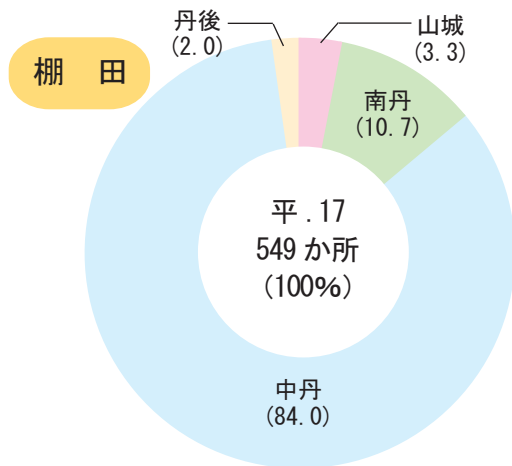
農業振興地域の整備に関する法律（略称：農振法）第 8 条第 1 項に基づき、市町村が農業振興地域整備計画を定めた区域のうち、第 8 条第 2 項第 1 号に基づく農用地等として利用すべき土地の区域の指定のある区域をいいます。

棚田の約8割が中丹地域

棚田、谷地田、ため池のか所数は、棚田549、谷地田623、ため池1,137か所となっています。
地域別には、棚田は中丹地域が約8割、谷地田は丹後、中丹地域で約8割、ため池は南丹、中丹地域で約6割を占めています。

また、棚田及び谷地田の1か所当たりの面積は、丹後地域の棚田が特に大きくなっています。

● 棚田、谷地田、ため池の地域別か所数割合 ●



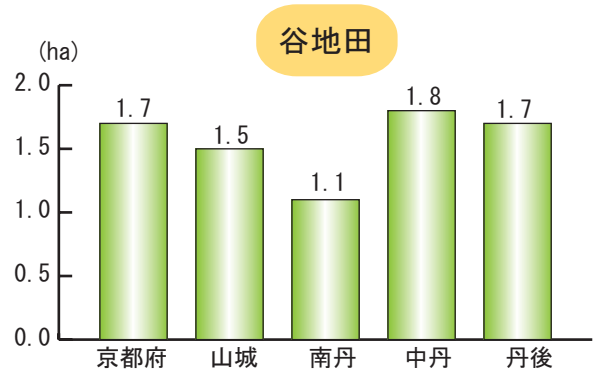
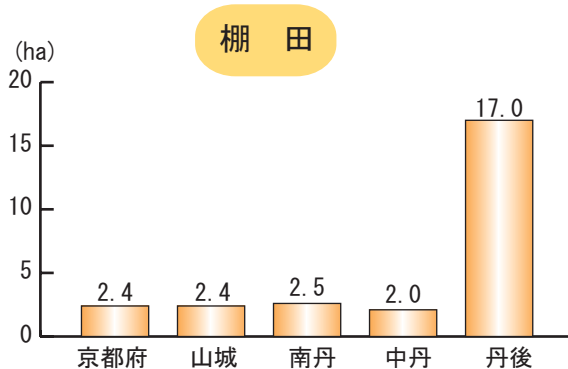
用語解説

棚田…傾斜地に等高線に沿って作られた水田であり、田面が水平で棚状に見えることからこう呼ばれています。ほ場の形状は問いません。

谷地田…台地にはさまれた細長い谷にある水田をいいます。ほ場の形状は問いません。

ため池…かんがい用水をためておく人工または天然の池をいいます。受益面積が2ha以上のものについて把握しています。

● 棚田及び谷地田の地域別1か所当たりの面積 ●

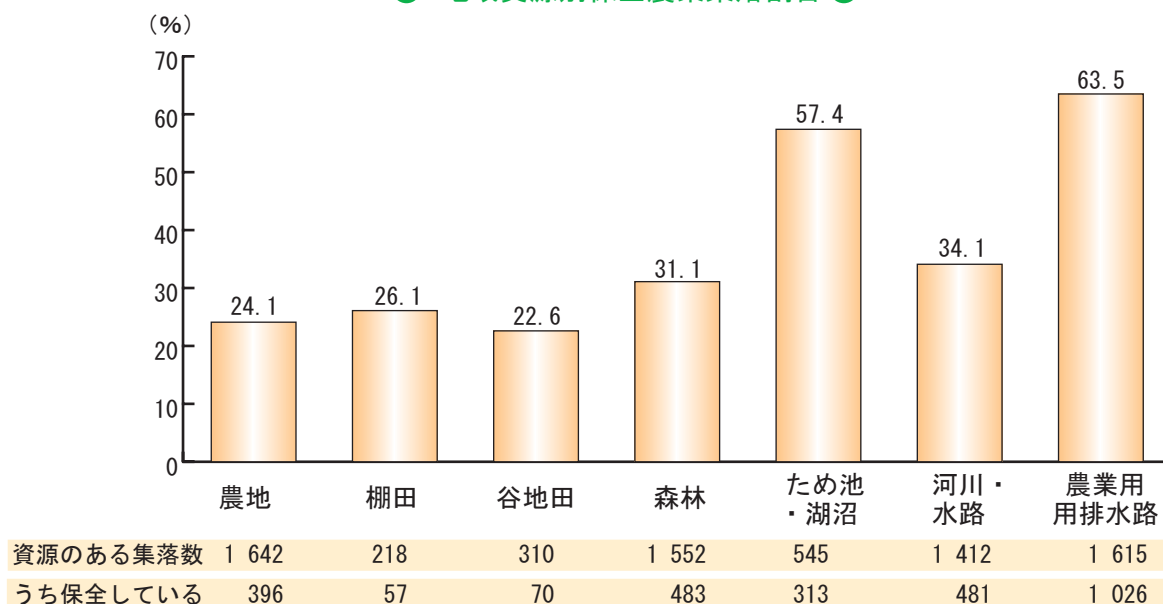


農業用排水路を保全している農業集落は64%

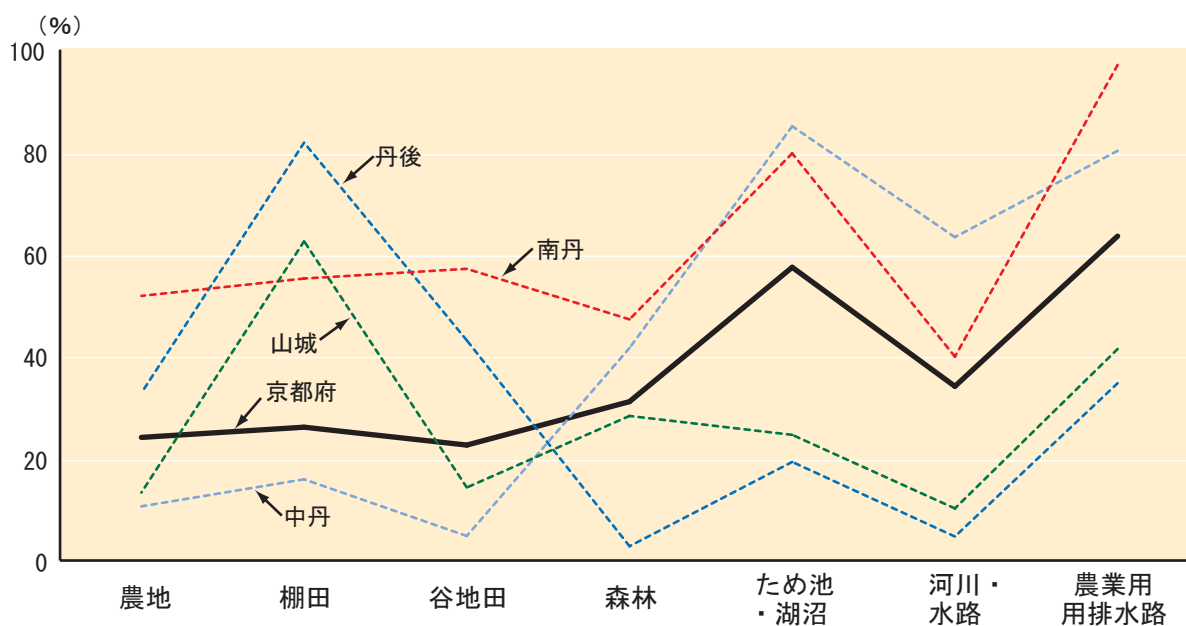
地域資源のある農業集落について、その資源別の保全割合をみると、農業用排水路が64%と最も高く、次いで、ため池・湖沼、河川・水路の順になっています。

また、地域別には、南丹地域が全ての資源で京都府平均を上回る率で保全が行われています。

● 地域資源別保全農業集落割合 ●



● 地域別地域資源別保全農業集落割合 ●

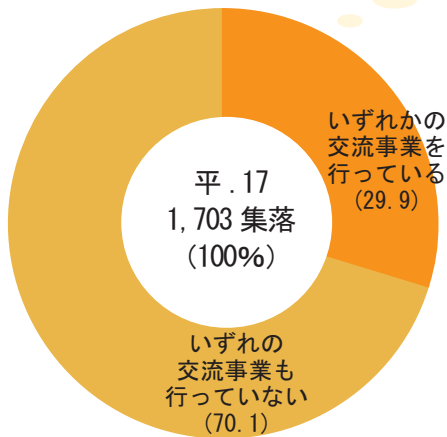


交流事業に取り組んでいる農業集落は3割

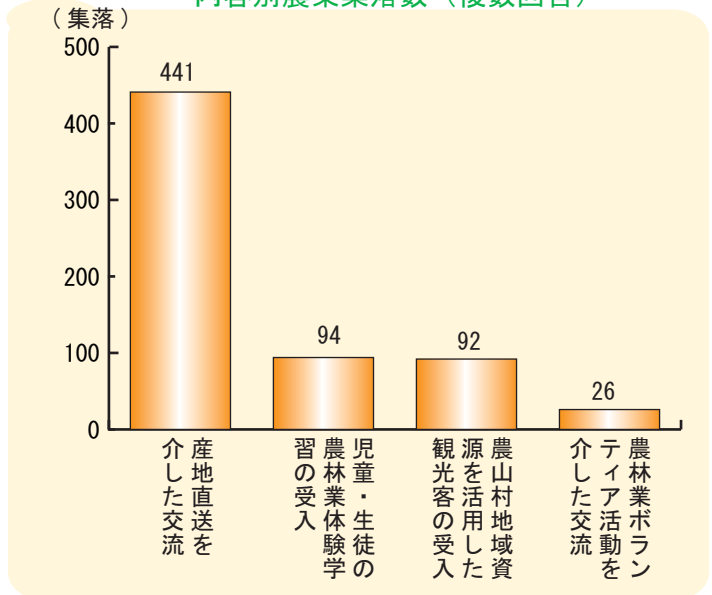
地域資源を活用したいずれかの交流事業を行っている農業集落数は 509 集落で、全体の 3 割となっています。

取り組んでいる交流事業を内容別にみると、「産地直送を介した交流」が 441 集落で最も多く、次いで、「児童、生徒の農林業体験学習の受入」が 94 集落となっています。

● 地域資源を活用した交流の取組農業集落数割合 ●



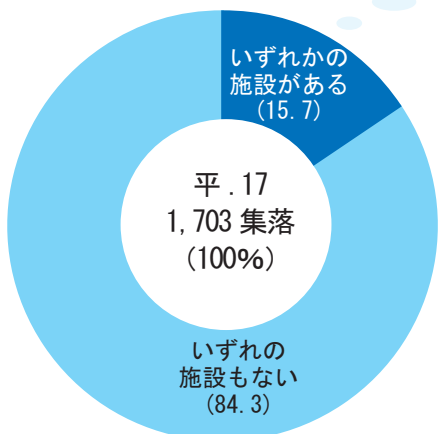
● 取り組んでいる交流事業の内容別農業集落数 (複数回答) ●



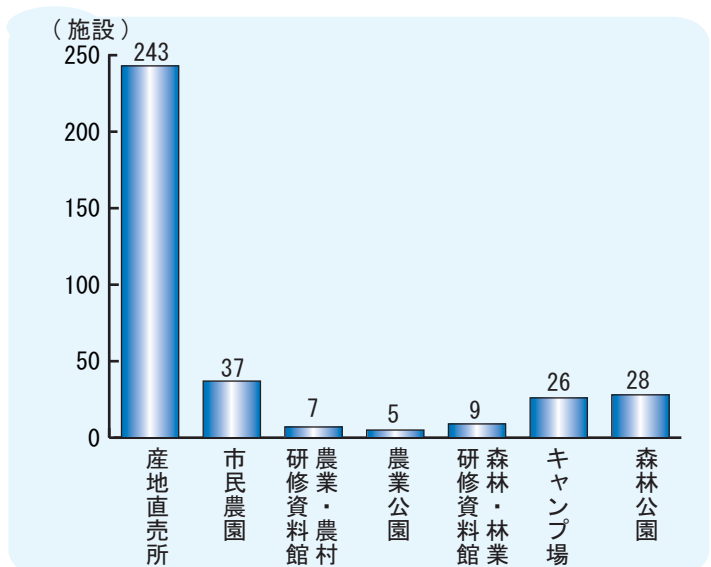
地域資源活用施設のある農業集落は16%

地域資源を活用したいずれかの施設がある農業集落数は 267 集落で、全体の 16%となっています。主な施設数をみると、産地直売所が 243 施設、市民農園が 37 施設となっています。

● 地域資源を活用した施設がある農業集落数割合 ●



● 地域資源を活用した施設数 ●

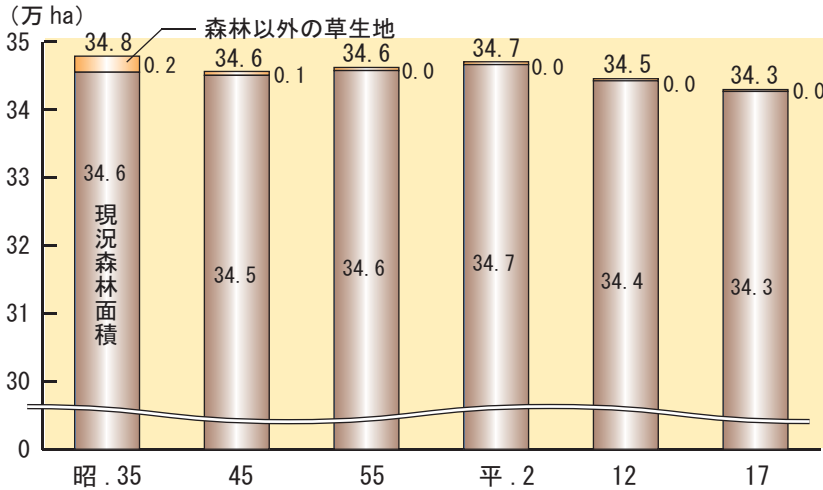


林 野

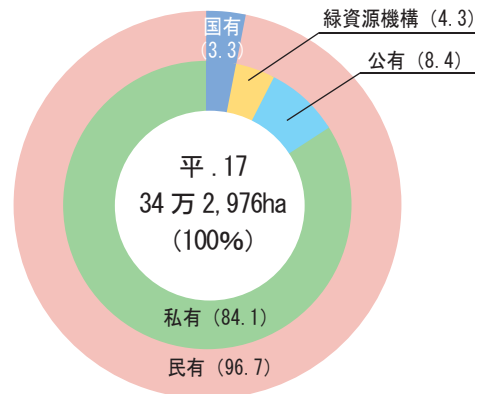
林野面積は34万3千ha

京都府における林野面積は34万3千haで、5年前に比べて1,597ha(0.5%)減少しています。これを、所有形態別にみると民有が97%を占め、国有は3%となっています。

● 林野面積の推移 ●



● 所有形態別林野面積 ●



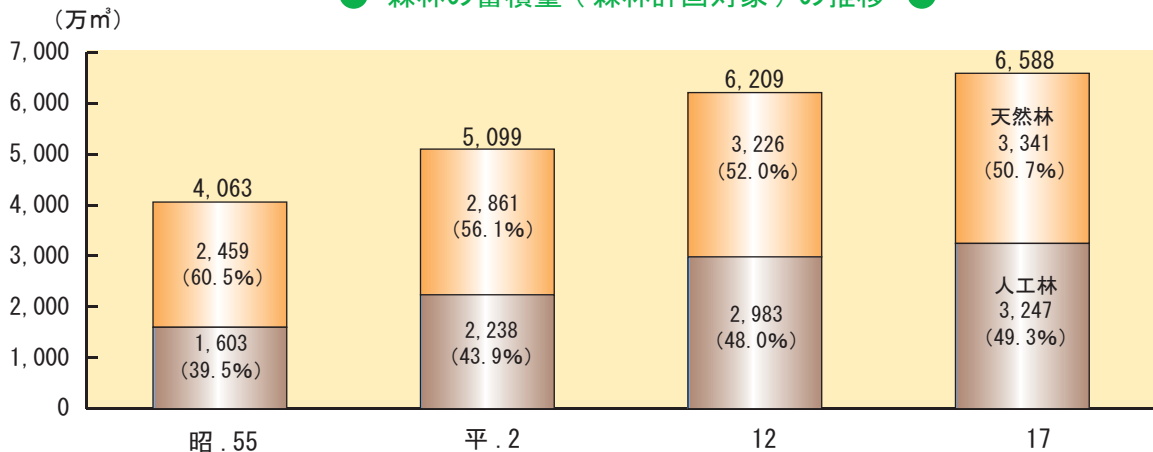
林野面積とは？

「現況森林面積」に「森林以外の草生地（野生地）」の面積を加えた面積をいいます。
 現況森林面積……調査期日（平成17年2月1日）現在の森林面積をいいます。
 森林以外の草生地…森林以外の土地で野草、かん木類が繁茂している土地をいいます。

総蓄積量は6,588万m³

森林蓄積量（森林計画対象）は6,588万m³で、5年前に比べて6%増加しています。これを、人工林・天然林別にみると、人工林は9%、天然林は4%増加しています。

● 森林の蓄積量（森林計画対象）の推移 ●



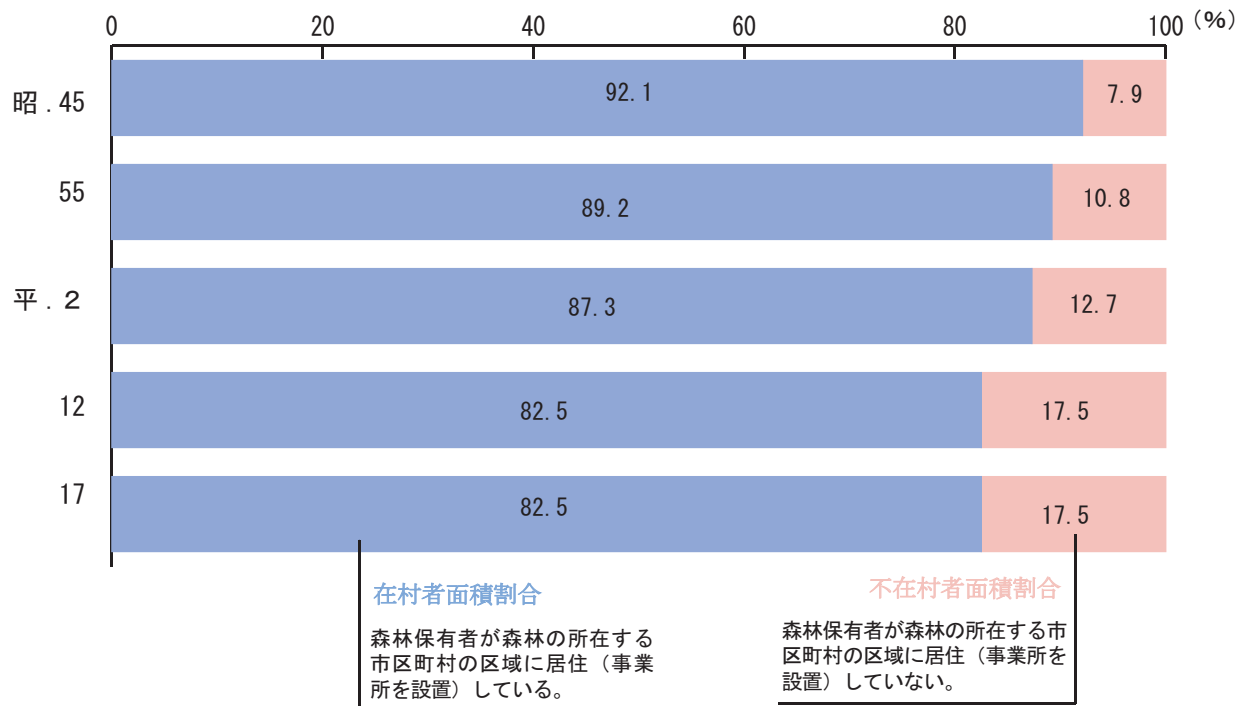
森林蓄積量とは、森林計画対象の森林における立木の材積量をいいます。

不在村者の私有林面積割合は18%

私有林の在村者、不在村者の割合をみると、在村者の面積割合は83%、不在村者の面積割合は18%で、5年前と同じとなりました。

地域別には、丹後地域で在村者割合が高くなっています。

● 在村者・不在村者別私有林面積割合の推移 ●



● 地域別在村者・不在村者別私有林面積割合 ●

